

# 平成30年度第5府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

## 1 開催日時

平成31年1月24日(金) 午前10時00分～

## 2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

## 3 出席者

(委員)

村上 明雄	西宮 達二	中村 一夫	(代) 渡辺 孝
(代) 毛村 正章	高山 俊宏	宮口 泰彦	横島 幸宏
(代) 重長 誠	(代) 松田 学	上田 隆博	若井 紳壮
(代) 木曾 浩幸	渡邊 一成		

## 4 欠席委員

石原 完壽

## 5 議事

第1号議案 府中市地域公共交通網形成計画(素案)について(案)

第2号議案 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業事業評価の実施について(案)

## 6 配布資料

資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿/配席図

資料2 平成30年度第5回府中市地域公共交通活性化協議会-議案

資料3-1 府中市地域公共交通網形成計画(素案)

資料3-2 府中市地域公共交通網形成計画(素案)修正一覧

資料4-1 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(案)

資料4-2 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価資料(案)

## 7 傍聴者

7人

## 8 議事の内容

### ○開会

【事務局】

### ○あいさつ

【府中市副市長】

### ○配布資料の確認

【事務局】

### ○議事

#### 議事①

事務局より資料説明

【委員】

以前、計画に記載がないので実施できないといわれたことがある。この計画が縛りとなるのか。技術革新が著しいので、それに対応できるようにしておいてはどうか。

【事務局】

御指摘は連携計画が該当すると思われる。これまでも細かく施策の記載があった訳ではないが、様々な取り組みを実際に実施してきた。技術革新に基づく取り組みも記載がないから実施しないという訳ではない。できるところから進めていきたい。

【委員】

網形成計画は、理念的なものであって、縛りにするものではない。具体的に記載しておけば、事業が進むと思われるために記載している。P7-1にPDCAサイクル関する記述があり、不都合があれば、協議会を介して、変更を申請し変更することも可能となっている。

【委員】

第5章が最も大事と考える。文字を大きくしてもらいたい。課題の欄に対策が記載してある。課題のような記述に修正をしてもらいたい。

P7-2で目標7は交通事業者から提供となっているが間違いではないか。目標8は、目標1, 4と重複するので、例えば、イベント数などにしてはどうか。目標9, 10の「一」は表現を再考した方が良い。

【事務局】

目標9については、商工会議所へのヒヤリングで、ノーマイカーデーを実施している事業者はないと聞いている。「0」としたい。

新型車両数も同様に「0」としたい。

【委員】

スケジュールと手続きを説明してもらいたい。

【事務局】

1/28 からパブコメに1ヶ月間諮る。その後、頂いた意見をもとに修正して（案）として次回3月中旬予定の協議会に提示し、承認が得られたら成案としたい。

【委員】

P7-2の目標10で、車両は路線バス、貸切バス、タクシーのどのカテゴリーを指すのか  
P6-16の内容であれば5台といわずもう少し増してもらっても良い。

【委員】

自動運転はかなり先で、この計画の5年間では難しいと思う。〇台というよりは〇%という方が良いかもしれない。

【委員】

全車両という気持ちはあるが、5年間では半分程度か。

【事務局】

5台が上限というものではない。カテゴリーとしては路線バス、タクシーを想定している。

【委員】

導入については補助があるのか。

【事務局】

費用負担は一部を国・県・市で考える制度がある。

【委員】

国の方では車両購入に対する補助制度がある。活用できるかは相談してもらいたい。

【委員】

P5-1で事務員不足に対する課題が示されているが、今後の展望としては、自動運転が該当すると思う。財政的な支援があれば良いと思うが如何か。

【事務局】

各事業者が乗務員確保に向けて、免許取得支援などに取り組んでいることは確認している。市が一緒になって取り組めることについて考えているところである。

【委員】

民鉄協では、Uターンする鉄道運転手に対する情報などを提供する取り組みを行っているときいた。バス・タクシーではそのような事例はあるか。

【委員】

人材確保のために合同説明会を開催している程度。

【委員】

県ではUターンのための情報を東京在住の広島県出身者に提供している。その取り組みと連携できるのではないか。

【委員】

乗務員の問題は、抜本的には自動運転となるが、それまでのつなぎ期間の現在は、雇用政策の1つとして取り組む必要もあると認識している。府中市全体で人手不足状態であり、説明会や女性、シニアの方への呼びかけを市としてもやっていきたいと考えている。

【委員】

網形成計画の中で扱うには重要ではあるが重たい課題でもあると思う。議事録には残しておいて、別のところで議論していただければと思う。

【委員】

素案については、本日の修正意見を反映させた上で委員に確認の上パブコメに諮るという条件付きで決を取りたい。賛成の方は挙手を願いたい。

賛成多数なので、条件付きで承認された。

議事②

事務局より資料説明

【委員】

A、Bの評価の意味は、目票→目標に修正、新規路線とは。

【事務局】

運輸支局と相談して判定した。新規路線を導入する不便地域は、形成計画のP6-12に記載している。表現については精査したい。

【委員】

Aは達成、Bはやや未達成、Cは未達成としている。数値として下回ったのでBとは。

目標が下回ったからといって、悲観するものげはなく、高い目標であったと認識してもらえれば良い。

【委員】

自己評価に対して採決をとりたい。異論ない方は挙手をお願いしたい。  
賛成多数ということで可決された。

○報告事項

事務局より資料説明

【委員】

どの便に何人乗車したか把握しているか。店舗の意見収集方法は。

【事務局】

8月は17:40に14人が乗車している。11月も17:40がほとんど。他の月は把握していない。

意見は商工会議所を介してアンケートで把握した。

【委員】

クーポンの使用枚数などで把握できるのではないか。

【事務局】

クーポンではない。詳細は把握できていないが、バスの利用者とはつながっていない。

【委員】

若い世代へのアプローチの検討とあるが、若い世代が対象だったのか。今後のイメージとは。

【事務局】

ぐるっとバスが高齢者が多いので、そのような表現とした若い世代といっても、働く世代を意識している。

今後は、例えば子育て世代なども考えてみたい。

【委員】

17:40というのは、飲食店へ行く時間と思われる。帰りの時間への対応も考えられるところ。  
行動パターンを考えて、次回は検討してもらえれば良いのではないか。

終了